

株主 通信

2020年12月期

2020.1.1 ▶ 2020.9.30

GMOフィナンシャルHD

証券コード：7177

**強いものをより強くし、
持続的成長を目指す**

代表執行役社長
CEO

鬼頭 弘泰



当第3四半期連結累計期間(1-9月)は、証券・FX事業の好調に加え、暗号資産事業も堅調に推移したことにより、9ヵ月間では過去最高の業績を更新しました。

証券・FX事業は、新たな収益の柱に育てるべく投資を継続するCFDが顧客基盤の拡大とともに収益を伸ばし、業績に大きく貢献しました。店頭FXは、持続的成長の実現にはシェアNo.1の維持とシェア拡大が重要であるとの考えのもと、この第3四半期(7-9月)に積極的なスプレッド縮小施策に取り組みました。収益性は低下したものの、施策が奏功して取引高は非常に高い水準で推移し、国内グループシェアは25.0%※1へと拡大しました。店頭FXの収益性改善プロジェクトを推進し、低スプレッドでも収益性を確保できる仕組みの構築と収益の拡大を目指します。また、海外事業では、タイ王国でインターネット証券を展開するGMO-Zcom Securities (Thailand)が、注力する信用取引で残高を順調に伸ばし同国38社中第3位※2の規模にまで成長しています。信用取引残高シェアNo.1に向けて各施策に取り組む同社の今後にご期待ください。

暗号資産事業では、アルトコイン銘柄の追加やAPI機能の拡充など、サービスの充実・利便性向上の取り組みを進め、顧客基盤が着実に拡大しています。11月には売買代金の増加が期待できる法人向けサービスの提供を開始、国内シェアの拡大を図っていきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※1 2020年9月のシェア。金融先物取引業協会公表資料より当社調べ。

※2 2020年6月末時点。各社公表資料より当社調べ。

▼第3四半期決算のポイント

**CFDを中心に好調を維持し、
9ヵ月間では過去最高の業績**

当第3四半期連結累計期間

営業収益

27,938 百万円

(前年同期比+12.1%)

営業利益

10,202 百万円

(前年同期比+33.7%)

経常利益

9,936 百万円

(前年同期比+33.9%)

親会社株主に帰属する四半期純利益

6,202 百万円

(前年同期比+34.0%)

業績レビュー

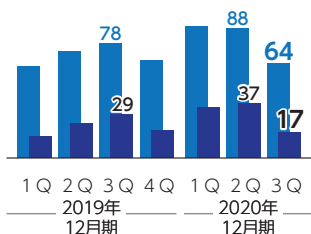
当第3四半期連結累計期間(1-9月)の証券・FX事業は、店頭FXのシェア拡大に向けたスプレッド縮小施策により、取引高が大幅に伸びましたが、収益は減少しました。一方、市況や顧客基盤の拡大を背景に好調に推移したCFDが全体を牽引し、当セグメントの営業収益は243.2億円(前年同期比14.1%増)、営業利益は89.7億円(同31.7%増)となりました。

暗号資産事業は、第2四半期(4-6月)にカバーコストの増加により収益性が一時的に低下しましたが、7月以降は新たに追加したアルトコイン銘柄の取引が伸び、収益性も改善しました。その結果、当セグメントの営業収益は31.8億円(前年同期比1.3%増)、営業利益は11.2億円(同59.7%増)となりました。

■ 四半期業績の推移(セグメント別)

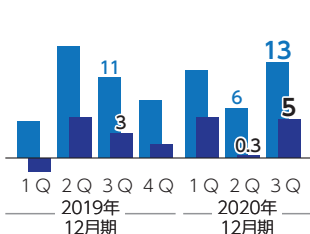
<証券・FX事業>

(億円) ■ 営業収益 ■ 営業利益



<暗号資産事業>

(億円) ■ 営業収益 ■ 営業利益



トピックス ～企業価値向上に向けた取り組み～

当社は、新たな価値を生み出し続ける企業であるために、自ら進化し続ける組織であることを大切にしています。これを実現するため、人材は企業成長の原動力であると捉え、一人ひとりが能力とクリエイティビティを最大限に発揮できる環境の整備に努めています。



価値創造に向けた「余白」を生み出す業務改革を推進

アイデアや創意工夫によって新たな価値を生み出すためには、精神的な余裕や時間が必要です。そこで、当社では、既存の業務プロセスの見直しによる業務の効率化を図り、仕事の質や生産性の向上につなげる取り組みを推進しています。

<脱ハンコ・ペーパーレス化の推進>

GMOインターネットグループの知見を活用し、請求書や契約書の電子化、社内の書面手続きのデジタル化、不要な押印手続きの撤廃などを進めています。これにより、在宅勤務体制時における円滑な業務の遂行を実現し、特にコロナ禍では押印などを理由とする出社の減少にも寄与しています。また、平常時においても柔軟で多様な働き方の実現に向けた体制構築を目指しています。

<業務の自動化の推進>

パートナー（社員）がよりクリエイティブな仕事に時間を使えるようにするため、RPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）を導入し、機械的な業務の自動化に取り組んでいます。

上記の取り組みに加えて、パートナーのゆとりと豊かさを実現するため、健康支援やオフィス環境の整備など、働きやすい環境づくりに取り組んでいます。詳細は当社ホームページをご覧ください。

働きやすい環境の整備

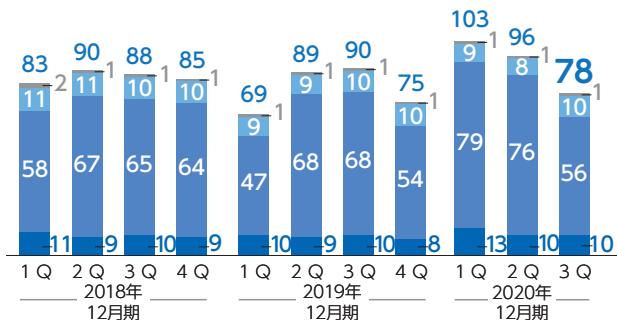
<https://www.gmofh.com/sustainability/workplace.html>



四半期業績の推移

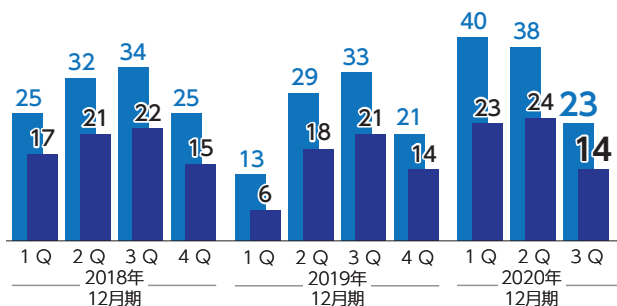
営業収益

(億円) ■ 受入手数料 ■ トレーディング損益 ■ 金融収益 ■ その他



営業利益／親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円) ■ 営業利益 ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益



株主還元方針と配当の状況

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向60%を目途に、四半期ごとに配当することを目標としています。

2020年12月期第3四半期末配当につきましては、上記方針に基づき1株当たり7.25円といたしました。

(単位:円)	1 Q	2 Q	3 Q	期末	年間
2019年12月期	2.59	8.03	9.02	6.14	25.78
2020年12月期	11.94	12.40	7.25	—	—

ホームページのご案内



<https://www.gmofh.com/>

月次開示情報や決算説明資料、各種開示資料等、タイムリーな情報提供に努めています。ぜひ、ご覧ください。

会社情報

(2020年9月30日現在)

会社概要

商号	GMOフィナンシャルホールディングス株式会社 (GMO Financial Holdings, Inc.)
本店所在地	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-2-3 渋谷フクラス
代表者	代表執行役社長 CEO 鬼頭 弘泰
事業内容	金融商品取引業等を行う連結子会社の経営管理 ならびにこれに附随する業務
設立	2012年1月4日
資本金	705百万円
従業員数	378名(連結)

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード		
証券コード	7177	上 場 日	2015年4月1日
事業年度	1月1日～12月31日	定時株主総会	毎年3月
定時株主総会基準日	12月31日	1単元の株式数	100株
剰余金の配当基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町 1 - 1 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL:0120-232-711 (通話料無料) 受付時間:土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00		
各種事務手続き	株式に係る各種事務手続きの詳細につきましては、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照ください。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/ なお、証券会社の口座で株式を保有されている株主様の住所変更、配当金受取方法のご指定等のお手続きについては、お取引の証券会社へご連絡ください。		
公 告 の 方 法	電子公告 公告URL: https://www.gmofh.com/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。		